

土曜教室 ボランティア研修会

今回は「みんなの勉強会」という位置づけで、ボランティア研修会を開催しました。参加者は23名で木曜教室からも6名の方が参加しました。研修会の概要は次のとおりです。

・日時：10月19日（土）、15：00～17：00

・会場：柴崎学習館 地下1階 第一教室

・講師：土曜教室 的場部長

・内容：

①日本語文法「は」と「が」の使い分け 約40分

学習者から「は」と「が」の違いを質問されたら、あなたは
どう答えますか？

新情報（未知情報、重要な情報等）と旧情報（既知情報）の
関係を簡単に説明すると学習者により理解してもらえる。

②「やさしい日本語」の作り方 約80分

災害時の緊急情報には難しい言葉が多く、外国人、小さな子ども、高齢者達に情報を理解してもらうのは難しいかと思われます。「やさしい日本語」を使うことでより分かり易く情報を伝えることができます。今回は、練習問題やグループワークで「やさしい日本語」の作り方のポイントについて学びました。



今後、立川市に住む外国人が更に増えることが予想されます。継続的に研修を行い、TIFA会員の「やさしい日本語」のスキルをアップさせることは必要だと思います。

南砂小学校 6年生との交流会



10月17日10時30分、約束通り新装なった正面玄関で待ち合わせ、早速事務員の案内によりエレベーターで4階の6年1組の教室へ行きました。円形

に椅子が用意され国際交流を希望した7名のメンバーが満面笑顔で出迎えてくれました。黒板には台湾出身の珍君と妍君の名前が掲示され、英語でWELCOME TO OUR SCHOOLと大きく板書されて、歓迎の気持ちが大きく表現されていました。女子のリーダーにより自己紹介に始まり、各メンバーから台湾に関する質問攻撃があり、続いてかるた取りやけん玉遊び、各自好きな文字を毛筆で書き合いお互いに見せ合いながら、あっという間に1時間30分の交流時間が過ぎてしまいました。

TIFAと南砂小学校との交流は5年間の実績があります。



TIFAバーベキュー

10月14日（月）体育の日。場所は国営昭和記念公園で「食欲の秋・バーベキュー大会」が開かれました。天気は秋雨。参加者は、学習者・子どもたち・ボランティアで約40名でした。集合時間になると徐々に人が集まりました。雨のため急遽屋根テントを借り、みんなで下準備を始めてバーベキューコンロの設置・大量の野菜やお肉などの食材を手際よく切ったり、みんなで声をかけあい、



和気あいあいとした雰囲気でした。炭の上で美味しく焼きたてのお肉やシーフードや焼きバナナなど満腹になると、お互いに自己紹介をしたりして会話を楽しみました。



最後は、ゴミの分別をして、掃除をして終わりました。教室とは違い開放感がある中で、とても有意義な一日でした。

木曜教室の受講生紹介

氏名：タンマン ズン 男性 10代



出身地：ベトナム

現住所：昭島市

来日時期：2018年1月

父、母、妹、弟と私の5人家族です。今年の夏はみんなでディズニーランドへ行きました。とても楽しかったです。日本の食べ物では、そばと納豆を時々食べます。好きなスポーツはバドミントンとサッカーです。両方ともベトナムで人気があるスポーツです。

氏名：高超（ガオ チョウ） 女性 20歳代



出身地：中国 チチハル市

現住所：立川市錦町

来日時期：2016年8月

日本では主人と息子と3人で住んでいます。息子は現在、保育園に行っています。2歳です。3人で日本に住んで幸せに思っています。

家族で熱海、大阪、富士山などへ行きました。休日は教室で日本語の勉強をします。日本へは3年前に来ました。日本語をだんだん話せるようになって嬉しいです。故郷のチチハルで妹が結婚しますので、今度のお正月は家族みんなで中国で過ごします

氏名：フォーガル レック 女性 40歳代



出身地：タイ

現住所：小金井市

来日時期：2016年8月

カナダ人の夫と娘が2人います。日本には6年間住んでいます。タイでは7年間、JAL でフライトア

テンダントの仕事をしていました。料理が好きなので、いろいろな国の料理を作りたいです。

氏名：キム キョンミン 女性 20歳代

出身地：韓国

現住所：立川市羽衣町

来日時期：2019年9月

今年、大学を卒業しました。韓国では日本のドラマをよく見ていました。今年12月に N2 を受験します。来年、日本で就職したいと思います。

氏名：ラワン ラウシダ 女性 20歳代



出身地：ヨルダン

現住所：立川市柴崎町

来日時期：2019年9月

ヨルダンでは軍人です。少尉で看護師をしています。

日本の弓道、剣道、書道を毎日午後から練習しています。

剣道の防具には私の名前

「羅鷹田（らわしだ）」をいれています。



キム キョンミン

ラワン ラウシダ

土曜教室の受講生紹介

氏名：パウディル アタリア サビナ 女性 20代

出身地：ネパール

現住所：立川市富士見町

来日時期：2018年10月

家族：夫と2人。姉は東京に、ネパールには両親と弟がいます。日本で仕事をしている夫がネパールに一時帰国した時に、両親から夫を紹介された。結婚式をネパールで行い日本に来ました。夫は2006年に来日。

趣味：ネパールのダンスが好きで結婚式、祭り等でよく踊りました。



受講生

氏名：母 姜景麗（キョウ ケイレイ） 女性 40歳代

氏名：娘 孫凡情（ソン ハンジョウ） 女性 20歳代

出身地：中国 山東省

現住所：立川市錦町

来日時期：

母 2017年10月

娘 2019年9月



娘

母

夫と息子は中国にいます。

2人とも弁当作りの仕事をしており、娘は平日の午前中、北府中にある日本語学校で勉強しています。日本語はとても難しいです。日本料理の中で寿司が好きです。ラーメンや餃子は中国のものの方が好きです

しんじゅく多文化共生プラザ

新宿区は総人口に対する外国人人口の割合が12.2%と、都内の基礎自治体でもっとも高く、その国籍も120を超えています。韓国10,275人、ベトナム3,435人、ネパール3,197人、台湾1,911人、タイ692人（2019年7月1日現在）の人々の集住の割合が高く、新宿区は、これらの国籍別人口では都内第一位です。ミャンマーも2,033人と、豊島区の2,149人について第二位です。このような現状から、新宿区は多文化共生のまちづくりを政策の大きな柱として推進しています。

西武新宿駅近くのハイジアという施設の11階にある「しんじゅく多文化共生プラザ」（以下、多文化共生プラザ）は、これまでレポートしてきた国際交流協会等とは異なり、新宿区役所の1部署です。しかし、公益財団法人新宿未来創造財団（以下、財団）や東京出入国在留管理局と連携・協力し、日本語学習の支援や暮らしに役立つ情報の提供、相談業務を実施し、外国人と日本人の交流の拠点となっています。

—多様な日本語学習の機会—

新宿区から委託を受け、財団は、多文化共生プラザをはじめ地域センターなど区内10施設で、「新宿区日本語教室」を12教室開催しています。有料ではありますが、いわゆる日本語学校の教室形式ではなく、ボランティアが少人数のグループ形式により日本語学習支援を行っています。12教室それぞれ曜日や時間帯が違い、月曜日から金曜日まで毎日どこかの教室が開講しています。現在、約80名の方々が日本語ボランティアとして活動しているそうです。年1回開催されるボランティア養成講座は35回の講義で構成されているそうで、登録にあたってなかなかハードルが高いなと感じました。

財団では、さらに託児付きの「親子日本語教室」や日本語初心者を対象とした「はじめてしゃべる日本語クラス」、気軽に参加できる無料の日本語教室も実施しています。また、財団以外に、日本語サークル等が実施している日本語教室が区内に11あります。外国人人口が多いだけに、公的・私的を問わず、ボランティアによる多様な日本語学習の機会が提供されていると言えます。



フリースペースでの日本語学習の様子

—外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習支援—

上記の教室は成人を対象としていますが、新宿区では、外国語を母語とする区立幼稚園児・児童・生徒を対象に、日本語の初期指導が行われています。母語を使って日本語を指導することのできる指導員が個別に行います。指導時間は1日2～4時間を基本に、週2～5日程度。幼稚園児、小学1・2年生はトータルで50時間、小学3年生以上、中学生は70時間指導を受けられます。30時間を上限とする延長指導や進学時再指導も可能だそうです。また、高校受験を希望している中学校3年生のうち、学習言語の不足により学習活動に支障が生じている外国籍の生徒を対象に、受験に必要な学習指導を行い、進学を支援しています。

やや異なった制度ですが、立川市では、2004年度から日本語の理解が十分でない児童・生徒に対して通訳協力員が学校に派遣されるようになりました。1人当たり400時間以内（80



資料情報コーナー

日程度）の派遣で、2018年度には34名の児童・生徒に対し、中国語・英語・ポルトガル語等の通訳協力員が派遣されています。

—多言語による相談窓口—

新宿区では、区役所本庁舎1階に外国人相談窓口を多文化共生プラザに外国人相談コーナーを設け、月曜日から金曜日まで、さまざまな相談に応じています。本庁舎では英語、中国語、韓国語で対応していますが、多文化共生プラザではこの3言語に加えてタイ語、ネパール語、ミャンマー語でも対応しています。相談件数は年間5,000件を超え、やはり福祉・健康・住まいをはじめとする生活関係の相談が多くを占めています。

また、新宿区では、日本語でのコミュニケーションが困難な外国人に対して、区役所での手続きや相談の際に利用できるテレビ通訳システムを導入しています。7施設に8台設置されており、対応言語は14言語に及びます。

新たな在留資格も創設され、今後ますます外国人人口が増えることが予想されるなかで、新宿区の実験的取り組みは多くの示唆を与えてくれます。



相談コーナー

海外での入院体験

皆さんは海外で病院に入院したことがありますか。6年前、日本近海を周遊するクルーズに参加しました。東京港を出港して、クルーズが始まりました。



洋上での楽しみはディナー、船内イベント等です。夜のアイスショーも楽しみにしていました。昼間、アイスリンクは開放され自由に滑

ることができます。私もやってみることにしました。結構、体は覚えているものです。あと一周で終わりにしようと思いきい滑っていききました。ところがスピードを出し過ぎて後方に転んでしまいました。咄嗟（とっさ）に左手で全体重を支えてしまい、手首の骨が折れ外に飛び出てしまいました。一瞬の出来事です。船内の診療所で応急処置をしてもらい、韓国釜山港から救急車



で病院に運ばれましたが、意識は朦朧とし、気が付いたら病院のベッドで横たわっていました。翌日手術でしたがよく覚えていません。

病室には毎日、お掃除おばさんが立ち寄り世間話、ペット、釜山の観光地等を教えてくれました。お互い韓国語と日本語で何とか対話が成立して、毎日来てくれるのを楽しみにしていました。



た。たまたま肩の骨折で入院している青年に会い、彼は日本に留学経験があり日本語が堪能で、先生との通訳や私たちに差し入れ等で、親切にして貰いました。

その青年は病院内ツアーもしてくれました。各病室を回りました。皆、笑顔で迎えてくれ、栄養ドリンク等を頂き楽しいツアーでした。骨折男子病棟に行った時は、韓国ドラマのアクションスター勢揃いの様な、男前病室でした。



食事は3食とも普通食です。毎回、キムチが付いていました。さすがはキムチの国です。白い器の中にたっぷりと水が入っていて中でブカリブカリと日に

よっては白菜、大根が浮いていました。これは水キムチといって優しい味のキムチでした。韓国での突然の入院は思いがけず人々の優しさや親切、心遣いに触れることができ、いつものツアーでは味わえない思い出深いものとなりました。

“世界ふれあい祭り”バザー

今年も11月3日、4日に開催された恒例の“世界ふれあい祭り”のバザーに参加しました。3日は午後から小雨が降る生憎の天候でしたが、4日は天候に恵まれバザー日和でした。出品物は受講生を始めとして、ボランティア及び関係者のご協力によって集められたものです。

山をなした出品物はよい物、掘り出し物から飛ぶように売れ、来場者の出足も好調だったことも要因となりまますの収益となりました。



TIFA役員選挙

立川国際友好協会会則に基づき、下記の如く役員の改選選挙を実施します。

- ① **選挙の時期**：11月中旬～12月上旬
- ② **選挙の方法**：11月第3週にボランティア名簿、投票用紙、会則を配布、12月第2週までに投票用紙を回収。
- ③ **選出される役員の人数**：木曜教室 5名、土曜教室 6名、西砂教室 1名
- ④ **役員の任期**：会則では原則として1期2年、2期連続を上限とする。現役員の内、数名は選出の対象外となるので、その対象者を除外した名簿を配布予定。
- ⑤ **結果発表時期**：1月の運営委員会（1月18日）にて、会長、副会長及び各部長を承認し、最終決定として発表する。なお、会長、副会長及び各部長は会則に準じて決定されます。

TIFA会員動向

【入会者】

木曜教室：なし
土曜教室：佐藤 尚美
西砂教室：磯崎 雅樹、齋藤 慧司

【退会者】【休会者】

木曜教室、土曜教室、西砂教室：なし

今後の予定

- ・西砂教室 昭和記念公園散策：11月24日（日）
- ・木曜教室 ランチパーティー：12月19日（木）
- ・イヤーエンドパーティー：12月21日（土）